

バスラ日誌 (5月19日)

1 ここバスラ・エア・ステーションにも、米軍のキャンプとは比較にはならないが、こちんまりとした売店群がある。コンビニのような普通の売店、喫茶店、怪しいイラク土産などを売っている店、そして3つの食べ物屋（カレー屋、ピザハット、サブウェイ）がそれである。普通の売店は、NAFFIと呼ばれ、米軍のPXと同じ感じではあるが、軍用品は非常に少ない（その他の品物も多くはない）。喫茶店は未だ入ったことはないが、たまに売店に行くと結構多くの人が利用しているようだ。何が売っているのかは確認していない。怪しい土産屋は2店舗あって、1つは電気製品やCDなどを販売しており、品質的にかなり怪しいものが並べてある。もう1つは、いわゆるお土産屋で、イラクのものらしい土産物を売っている。こちらは見た目から怪しい雰囲気である。最後に食べ物屋だが、カレー屋はクウェートの住所や電話番号が書いてある。こちらに来てのらしく、お店を紹介するパンフレットにはクウェートの住所や電話番号が書いてある。かなり本格的なカレーを食べることができ、私はJ9の新着任者歓迎会で利用したことがあるが、なかなかおいしかった（辛いけど）。ピザハットとサブウェイは皆さんご存じのファーストフードで説明の必要はないと思う。私は以前から何処の国がイラクに出店しているのか疑問だったので、サブウェイの定員さんに訊いてみると、クウェートからであると教えてくれた。イラクに展開しているサブウェイはクウェートからで、更にアフガニスタンに展開しているサブウェイもクウェートからだということだった。彼が「日本にもサブウェイがあるのか」と訊くので、私は「全く一緒なのがあるよ。」と答えると、「世界中で同じなのかな」と不思議そうにしていた。確かに東京やニューヨークといった大都会でもサブウェイだし、バスラやバグダッドという弾が飛んでくるところでもサブウェイである。世界各地に店舗を展開するとはいえ、マクドナルドやピザハット、スターバックスといったフランチャイズ・チェーン店舗の、準戦場ともいえるイラクにまで店舗を展開するその展開力というか、商魂の凄さに改めて感心した。

2 本日快晴。バスラ4名、極めて健康。